



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6145 URL <http://www.nittoku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 磯田 博 (TEL) 048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,300	39.3	2,458	97.9	2,453	82.8	1,720	88.1
29年3月期第2四半期	10,981	△3.0	1,242	44.3	1,342	41.6	914	7.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,241百万円(340.9%) 29年3月期第2四半期 508百万円(△25.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	95.23	—
29年3月期第2四半期	50.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	36,772	24,994	67.8
29年3月期	33,695	23,006	68.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 24,928百万円 29年3月期 22,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
30年3月期	—	14.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

第2四半期末配当は11月10日の取締役会で決議される予定です。

3. 平成30年3月期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	20.3	3,850	34.0	3,900	30.3	2,800	25.6	154.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年11月8日に公表しました「平成30年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	18,098,923株	29年3月期	18,098,923株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	31,030株	29年3月期	30,969株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	18,067,939株	29年3月期2Q	18,068,149株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー 計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復への期待が増加する一方、さまざまな国で関連するリスクの多くが解決されない状況が続きました。そのような状況下、IoT、AI、ロボットやEV、コネクテッドカーなどに向けたソフト、ハード両面の開発、進化の国際的な競争はさらに激化し、加速を続けています。

産業の革新や環境対策、生活スタイルの変革といったハード面のキーデバイスには、電気や電磁を利用するためのコイル、電動化のためのモータは不可欠なものといえ、これらの生産設備を主力とする当社グループへの相談、引合いは増加を続けています。特に、これら要素技術面での需要に加え、近年では、賃金上昇や工場労働者の不足、生産品の小型化・微細化対応、品質向上のための自動化需要が急増しました。

当社グループの主力であるFA設備の開発、生産は、電子機器・部品、自動車、モータを中心に、メーカーの前述の複数のニーズを的確に捉えていることから過渡期にあります。そのため、能力増強とともに、要素技術、生産技術をさらに進化させるための研究開発にも注力しています。

具体的には、主力のFA設備の製造が設備ではなくマンパワーに依るため、生産、研究開発ともに人材の補強、育成を国内外で積極的に行っています。また、工場建物の増築、ビジネスパートナーの増強、アライアンスの強化も併せて精力的に進めています。研究開発面では、EVモータ生産設備の開発とそのソリューションのためのモータ開発、電子機器・自動車・搬送装置向けワイヤレス充電といった電子化、電動化向けFA設備、また、生産管理用RFIDタグなどにリソースを投入しています。

それらの効果もあり、当第2四半期連結累計期間(4-9月)の売上高は153億円、当第2四半期連結会計期間(7-9月)の売上高は98億円といずれも過去最高を記録しました。その最大の要因は、前第3四半期の大型受注案件の生産、納品が順調に進み、当第2四半期連結会計期間までに売上計上されたことによるものです。なお、当社グループの主な事業は、客先ごと、用途ごとにカスタム設備を受注、開発、製造しており、納期、売上計上時期は様々なものになります。そのため、工場が繁忙で生産高がほぼ一定の場合であっても、売上計上の額は四半期単位では大きく変動することがあります。

これらの結果、売上高は153億円(前年同期比39.3%増)、営業利益は24億58百万円(前年同期比97.9%増)、経常利益は24億53百万円(前年同期比82.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億20百万円(前年同期比88.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(ワインディングシステム&メカトロニクス事業)

当第2四半期連結累計期間の売上は、情報通信分野では、前第3四半期に受注した大型案件のうち49億円強の売上げがあり、前第4四半期の8億円強と合わせ、約57億円のプロジェクトが計画通り納品されました。なお、本件については追加約7億円を受注し、当期中に売上げとなる見込みです。受注につきましては、引き続き小型のスピーカやレシーバモジュール、パワーインダクタ等の製造用設備ラインが堅調に推移しています。自動車分野では、引き続き電動パワーステアリングや電動ブレーキといった車載モータ関連が順調に推移しました。また、AV家電分野では、家電用モータ製造の高度化、自動化に向けた設備ニーズを受け、受注、売上が増加し、産業機器分野ではコネクタ組立ラインが順調に推移しました。

全売上高の約95.3%を占めるワインディングシステム&メカトロニクス事業におきましては、前述の結果、連結売上高は145億76百万円(前年同期比42.5%増)、セグメント利益(営業利益)は27億77百万円(前年同期比76.6%増)となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は154億66百万円(前年同期比73.9%増)、売上高(生産高)は135億68百万円(前年同期比47.2%増)、当第2四半期末の受注残高は153億64百万円(前年同期比95.6%増)となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

当第2四半期連結累計期間では、生産管理用FAタグが売上で堅調に推移しました。また、受注では、生産管理用FAタグのほかクレジットカードが堅調に推移しました。

これらの結果、非接触ICタグ・カード事業におきましては、連結売上高は7億24百万円（前年同期比3.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1億86百万円（前年同期比39.4%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は5億95百万円（前年同期比50.1%減）、売上高（生産高）は7億24百万円（前年同期比3.5%減）、当第2四半期末の受注残高は2億69百万円（前年同期比62.3%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は前連結会計年度末対比25億82百万円増加し、290億21百万円となりました。これは主として、現金及び預金が18億80百万円増加したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比4億95百万円増加し、77億51百万円となりました。これは主として、建物及び構築物（純額）が1億59百万円、投資有価証券が3億19百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比30億77百万円増加し、367億72百万円となりました。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末対比9億12百万円増加し、110億85百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が9億40百万円減少したものの、電子記録債務が12億8百万円、未払法人税等が2億56百万円増加したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比1億76百万円増加し、6億92百万円となりました。これは主として、繰延税金負債が1億61百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比10億89百万円増加し、117億78百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末対比19億88百万円増加し、249億94百万円となりました。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という。）は、前連結会計年度末対比24億42百万円増加し、125億86百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は25億69百万円（前年同期比0.6%増）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が24億78百万円あったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は41百万円（前年同期は5億42百万円の支出）となりました。これは主として、定期預金の預入による支出が27億75百万円あったものの、定期預金の払戻による収入が28億65百万円あったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億52百万円（前年同期比0.5%減）となりました。これは配当金の支払額が2億52百万円あったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。なお、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細については、平成29年11月8日に公表しました「平成30年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,467,653	15,348,139
受取手形及び売掛金	6,321,167	6,190,750
仕掛品	5,128,043	5,376,963
原材料及び貯蔵品	600,158	666,087
繰延税金資産	261,728	289,768
その他	704,095	1,188,306
貸倒引当金	△43,741	△38,879
流動資産合計	26,439,105	29,021,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,846,683	2,006,484
機械装置及び運搬具（純額）	546,344	515,153
土地	691,468	700,297
その他（純額）	506,470	396,507
有形固定資産合計	3,590,966	3,618,442
無形固定資産		
のれん	33,926	26,387
その他	158,289	157,636
無形固定資産合計	192,215	184,023
投資その他の資産		
投資有価証券	2,616,369	2,935,378
その他	856,440	1,013,197
投資その他の資産合計	3,472,810	3,948,575
固定資産合計	7,255,992	7,751,042
資産合計	33,695,098	36,772,178

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,126,182	2,185,279
電子記録債務	3,777,497	4,985,856
未払法人税等	558,465	814,642
賞与引当金	459,060	535,775
その他	2,252,400	2,564,344
流動負債合計	10,173,608	11,085,897
固定負債		
繰延税金負債	212,331	373,367
退職給付に係る負債	98,402	114,088
その他	204,706	204,706
固定負債合計	515,440	692,161
負債合計	10,689,048	11,778,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	12,602,186	14,069,836
自己株式	△23,937	△24,172
株主資本合計	22,005,232	23,472,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	571,936	933,879
為替換算調整勘定	424,857	569,730
退職給付に係る調整累計額	△53,869	△48,006
その他の包括利益累計額合計	942,924	1,455,603
非支配株主持分	57,893	65,868
純資産合計	23,006,049	24,994,119
負債純資産合計	33,695,098	36,772,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,981,726	15,300,919
売上原価	7,817,200	10,837,145
売上総利益	3,164,526	4,463,773
販売費及び一般管理費	1,922,204	2,005,586
営業利益	1,242,321	2,458,187
営業外収益		
受取利息	16,011	24,285
受取配当金	16,634	15,370
為替差益	37,826	—
その他	35,809	24,284
営業外収益合計	106,283	63,939
営業外費用		
為替差損	—	44,153
固定資産売却損	1,636	13,917
その他	4,851	10,346
営業外費用合計	6,488	68,418
経常利益	1,342,116	2,453,708
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,118
特別利益合計	—	25,118
税金等調整前四半期純利益	1,342,116	2,478,827
法人税、住民税及び事業税	261,861	782,786
法人税等調整額	160,002	△30,234
法人税等合計	421,864	752,551
四半期純利益	920,252	1,726,275
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,635	5,674
親会社株主に帰属する四半期純利益	914,616	1,720,601

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	920,252	1,726,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,888	361,942
為替換算調整勘定	△471,978	147,173
退職給付に係る調整額	25,168	5,863
その他の包括利益合計	△411,921	514,979
四半期包括利益	508,330	2,241,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	507,453	2,233,280
非支配株主に係る四半期包括利益	877	7,974

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,342,116	2,478,827
減価償却費	205,148	199,145
のれん償却額	7,539	7,539
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,294	△4,852
賞与引当金の増減額(△は減少)	97,157	73,537
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47,714	24,307
受取利息及び受取配当金	△32,646	△39,655
有形固定資産売却損益(△は益)	△3,133	13,687
売上債権の増減額(△は増加)	774,260	172,972
たな卸資産の増減額(△は増加)	346,811	△333,821
仕入債務の増減額(△は減少)	△457,410	235,458
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△25,118
その他	10,433	229,603
小計	2,334,697	3,031,631
利息及び配当金の受取額	33,780	38,060
法人税等の支払額	△92,823	△500,080
法人税等の還付額	278,021	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,553,676	2,569,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,146,861	△2,775,406
定期預金の払戻による収入	854,425	2,865,280
有形固定資産の取得による支出	△188,020	△236,128
有形固定資産の売却による収入	6,517	33,430
無形固定資産の取得による支出	△36,823	△9,129
投資有価証券の取得による支出	△26,588	△2,892
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,053	231,272
保険積立金の積立による支出	△37,270	△43,338
保険積立金の払戻による収入	31,560	19,827
その他	—	△41,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△542,005	41,115
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△90	△234
配当金の支払額	△254,005	△252,698
財務活動によるキャッシュ・フロー	△254,095	△252,933
現金及び現金同等物に係る換算差額	△248,607	84,673
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,508,967	2,442,467
現金及び現金同等物の期首残高	7,811,802	10,143,756
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,320,769	12,586,223

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ワイディングシステム &メカトロニクス事業	非接触 I C タグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,230,793	750,932	10,981,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,230,793	750,932	10,981,726
セグメント利益	1,572,589	133,944	1,706,533

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,706,533
全社費用(注)	△464,212
四半期連結損益計算書の営業利益	1,242,321

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ワインディングシステム &メカトロニクス事業	非接触ICタグ・カード 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	14,576,599	724,320	15,300,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,576,599	724,320	15,300,919
セグメント利益	2,777,084	186,770	2,963,855

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,963,855
全社費用(注)	△505,667
四半期連結損益計算書の営業利益	2,458,187

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「巻線機事業」としていた報告セグメントの名称を「ワインディングシステム&メカトロニクス事業」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。